故事成語

教材のねらい

1 選定の理由

「故事成語」の三編は、現在も使われている成語の由来となった故事を選んだ。ある程度まとまった文章を通して、「訓読の世界」で学んだ基礎知識（語順・訓点の付け方・助字の用法）を確認し、漢文訓読に慣れるとともに、内容的にも故事となった寓話のもつ比喩性を読み取らせるなど、一歩深めて考えさせることをねらいとした。教材の配置は、「蛇足」は「レ点」と「一・二点」、「朝三暮四」は「一・二点」と「レ点」の組み合わせ、「断腸」では「上・下点」と「熟語に戻る場合」の返り点というふうに返り点の付け方をもとにしてある。

三編とも現在の日常生活に類推して当てはめることのできる話であったり、あるいは言葉として実際に使われるものであったりするので、そのような方面からもアプローチし、教材との関連に気づかせるという学習をさせたいところである。「漢文の窓②」の三作品は、故事成語が現在も多様な文章に使用されている一例として示した。

2 指導のねらい

「故事成語」では次のような点を中心に指導したい。

(1) 音読や、書き下し文を書く作業を通して漢文の訓読に慣れるとともに、ある程度まとまった文章の趣旨をつかむ。

(2) 再読文字や置き字の用法などに習熟し、初めての文章も独力で読む力をつける。

(3) 故事としての意味を考え、それが現在どのように用いられているかについて確かめる。できれば時代背景なども含めて文章の背後に流れるものの考え方などにも迫っていきたい。

(4) 漢和辞典を活用し、漢字一字には多くの意味があり、文脈によって判断する必要があることを認識する。

3 単元の目標

目標について、別表「単元の目標一覧」をご確認ください。

4　評価規準

学習指導要領との対応等	評価規準例	蛇足（漢文の窓 1）	朝三暮四	断腸	単元の言語活動 2（漢文の窓 2）
〔知識・技能〕					
(1)ア	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。				○
(1)ウ	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○	○		
(1)ウ	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。			○	○
(1)エ	文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。	○	○	○	
(2)ア	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。				○
(2)イ	古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。	○		○	
(2)ウ	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	○	○	○	○
(2)エ	時間の経過による言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。			○	○
(2)エ	時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。		○		
〔思考・判断・表現〕					
B(1)ア	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。			○	
B(1)イ	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	○		○	
	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。		○		

B(1)オ 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。				○	○
〔主体的に学習に取り組む態度〕					
進んで短い漢文を読み、文章の内容をその叙述に即して的確に読み取り、故事成語の由来や意味と、現代の言葉とのつながり理解し、学習課題に沿って、身近な「蛇足」の例を考えようとしている。	○				
進んで短い漢文を読み、文章の内容をその叙述に即して的確に読み取り、故事成語の由来や意味と、現代の言葉とのつながりを理解し、学習課題に沿って、身近な「朝三暮四」の例を考えようとしている。		○			
進んで短い漢文を読み、文章の内容をその叙述に即して的確に読み取り、故事成語の由来や意味と、現代の言葉とのつながりを理解し、学習課題に沿って、「断腸の思い」という表現を用いて小話を作ろうとしている。			○		
進んで故事成語の由来や意味と、現代の言葉とのつながりを理解し、文章の内容をその叙述に即して的確に読み取り、今までの学習を生かして、故事成語を「五・七・五」で表現しようとしている。					○

■言語活動例との関連（【　】は関連する指導要領の言語活動例）

蛇足：身近な「蛇足」の例を考える。【〔思・判・表〕B(2)イ】

朝三暮四：身近な「朝三暮四」の例を考える。【〔思・判・表〕B(2)イ】

断腸：「断腸の思い」という表現を用いて小話を作る。【〔思・判・表〕B(2)イ】

単元の言語活動2：故事成語を「五・七・五」で表現する。【〔思・判・表〕B(2)イ】